



富士中だより



令和8年9月28日
No. 5 (9月号)
富士の学び舎
世田谷区立富士中学校
校長 山田 勝基

〒155-0032 東京都世田谷区代沢1-23-17 TEL 03-3414-5174 (代)
e-mail dai112@setagaya.ed.jp <http://www.setagaya.ed.jp/tfuji/index.htm>

「多様性のインクルージョンの基本とは」

校長 山田 勝基

インクルーシブな学校の創造に向けた2日連続の取組

9月の10日、11日に続けて生徒、教職員が、相互理解やインクルーシブ※な社会や学校を創ることについて学びました。※インクルーシブ…「包み込むような」「包括的な」の意味で、人種、国籍、性別、障害の有無などに関わらず、あらゆる人が社会の構成員として共に支え合い生きる状態

10日の道徳地区公開講座では「相互理解・寛容」を全学年共通の内容項目として設定し、ロールプレイを取り入れた「考え、議論する道徳」について追究しました。生徒の皆さんが下校した後、第2部では、地域の方と教職員が「多様性を認め合い、ともに高め合うインクルーシブな学校の創造」と題した参加者で協議し、講師にお招きした全国中学校道徳教育研究会会長の北沢学園中学校の加藤敏久校長先生からご指導いただきました。

11日には、「インクルーシブな社会や学校をつくろう」と題した講演会を開催。全校生徒が、東京学芸大学大学院教授で東京学芸大学附属世田谷中学校校長の増田謙太郎先生からご指導いただきました。インクルーシブな学校づくりについての考え方から実践について分かりやすくご指導いただき、生徒の皆さんは熱心に考え、話し合っていました。

合唱コン、修学旅行、職場体験・・・後期のスタート やはり支え合い高め合い

以上の2つの学習活動は意図的に2日連続で企画しました。ねらいは2つ。

1つは、すでに動き始めている今年度後半を生徒みんなで支え合い高め合い充実した毎日にするため。合唱コン、修学旅行、職場体験と、大きな行事や、3年生の進路開拓もみんなとだから盛り上げられた、乗り切れたというゴールを目指したいから。

もう1つは、来年度、自閉情緒クラスを開設するにあたって、その学級の生徒もちろん、富士中の仲間と、ともに支え合い高め合ってほしい。そのための心の準備のため。

もともとやっている「安心安全で、成長のよろこびのあふれる温かい学校」の、この学校は居心地がよく、授業中間違ってもいい、いじめのない、人の嫌がることを言わない学校です。他者を思いやり理解して、その次へ。多様性のインクルージョンも基本はそこだと考えます。



1 学年 2 学期のスタート！

2 学期が始まり、始業式の日には、久しぶりに友達と顔を合わせた生徒たちの元気な顔が学校に戻ってきました。その後の学校生活では、元気に過ごす姿が見られる一方で、気持ちの切り替えがまだ十分ではなく、落ち着いて行動することに課題が見られる場面がまだまだあります。

9 月 24・25 日には 2 回目の定期考査を終えました。1 学期の初めての定期考査を経験したことで、今回はより具体的な学習計画を立て、自分なりの学習方法を工夫したりする姿も見られました。一方で、計画的に学習を進められなかったり、授業と休み時間との切り替えができなかったりなど、今後に向けた課題もまだまだあります。1 学期のさまざまな経験と今回の定期考査を通して学んだことを生かし、自分で見通しを立てて、気持ちを切り替えて行動する力を身に付けてほしいと思います。

そして、これから大きな行事の一つである合唱コンクールを迎えます。クラスで一つの合唱をつくり上げるためには、練習の時間だけでなく、日々の学校生活の中で互いに声を掛け合い、相手の話をよく聞き、協力して行動することが大切です。一人一人が自分の役割に責任をもち、仲間を認め、支え合うことで、クラスの心が一つになっていきます。「楽しむときは楽しむ、やるときはやる」というメリハリを大切に、落ち着いた学校生活を自分たちの力でつくりあげていくことが、よりよい合唱につながります。今回の行事を通して、みなさんの更なる成長を期待しています。



2 学年 富士中の「核」となるべく、さらなる「支え合い」を目指して

2 学期が始まり、2 学年では最初の学年集会で学年目標である「支え合い」の意味をもう一度確認しました。これからは、「学校を主体的につくっていく学年になる」こと、「学校の雰囲気をつくっていく学年になる」こと、そのためには、時に仲間が間違えや失敗をした時に、自分たちがいま、目の前で一緒に過ごして見ている仲間を応援し、辛い時や、苦しい時こそ、「支え合い」ができる側でいこうと、全体で共有しました。9 月の生徒会選挙では会長・副会長・書記・議長が決まりました。委員会活動でも委員長として重要な役割を任される生徒が決まりました。しかし、「衆力功をなす」の気持ちで集団として学年が学校を高める存在となれるよう、一人一人の生徒たちと向き合っていきたいと思っています。

定期考査Ⅱが終わると、本格的に合唱コンクール、職場体験に向けた取り組みが始まります。10 月の職場体験では地域の多くの事業所の皆さまにご協力いただき、生徒たちがお世話になります。受け入れてくださる事業所の皆様に心より感謝申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。



3 学年 実るほど 頭を垂れる 稲穂かな

夏の暑さが和らいだものの、雨が例年とは違った波状攻撃を仕掛けてくる未体験の気候の中で農家の方のご苦労が忍ばれる今日この頃ですが、3学年は、中学校生活の実りの時期に差し掛かってきました。

1年生・2年生の積み上げがあってこそこの「実り」。それを豊かなものにするための日々の取組が、2学期のスタートとともに(9月18日現在)に続いています。

授業の「落ち着いた集中力」。道徳の「思いやりをもって考える姿勢」。生徒会選挙へ臨む「真剣な態度」。

力まず、自然にやれている点が立派に思えました。経験を良く消化し、養分に変えていくことで、とがらず、思いやりと落ち着きを身につけ、更に豊かな「実り」を収穫してほしいと思います。

シルバーウィークを挟んで定期考査Ⅱ、そして最後の合唱コンクール。最後の校外学習である修学旅行へなだれ込みます。ある意味で中学校生活の人的成長のピーク。卒業までもう半年。胸を張るための「実り」を多く収穫できるサポートを、今後も保護者の方々と連携して続けていきたいと存じます。よろしくお願いいたします。



道徳授業地区公開講座



9月10日(木)、「多様性を認め合い、ともに高め合うインクルーシブな学校の創造」～ロールプレイで他者の心に身を置き、葛藤を語り合う道徳科の授業づくり～をテーマに、学年でロールプレイを取り入れた「考え、議論する道徳」の授業を計画、実施しました。意見交換会のあとは、今後の道徳教育の充実に向けて教員向けに北沢学園校長加藤敏久先生(全国中学校道徳教育研究会会長)より「他者理解のための道徳」の講義をいただきました。

インクルーシブ教育 講演会



9月11日(金)、すべての生徒が安心して学べるインクルーシブな学級・学校づくりをめざすために「インクルーシブな社会・学校をつくらう」をテーマに講演会を実施しました。

講師に東京学芸大学教職院大学教授 兼東京学芸大学附属世田谷中学校校長 増田謙太郎先生をお招きし、インクルーシブな考え方をすすめるうえでの「視点」をとても分かりやすく教えていただき、生徒たちも熱心に学んでいる姿がみられました。

◆今月の富士中 Teacher's×授業

*このコーナーでは授業での教育活動や授業者の授業への思いを紹介します。

今月は、**音楽科の谷口先生**にお話を聞きました。

Q. 現在、音楽の授業ではどんなことを生徒たちは学んでいますか？

今は、合唱コンクールに向けて「合唱」に取り組んでいます。

自分たちで考えながら積極的にパート練習をしている様子がありますが、特に3年生になると細かいところまで確認してこだわり、何よりクラスで「良いものをつくるぞ!」という雰囲気があります。

Q. 富士中生徒の授業での取り組みはどうですか？

今は合唱をしています、授業で活き活きとした姿が特にみられるのは、「ギター」の時です。

興味をもって楽しんで学んでいる生徒が多い印象です。1人1本クラシックギターを使って、

1年生では旋律を、2年生ではコードを覚えて弾き語りをし、3年生になった時は好きな曲の演奏にチャレンジできるようにと、授業をしています。

Q. 富士中の生徒に音楽の時間を通して期待していることはどのようなことですか？

生涯にわたって音楽を楽しむ力をつけてほしいですね。演奏するだけでなく、「音」を聞いたり、感じたりする中で楽しみをみつけてほしいと思っています。

また、生徒たちには、先を見通して練習する」など計画性をもてるようになることを期待しています!

ありがとうございました!合唱コンクールでの生徒たちの合唱を楽しみにしています。

来月号の **Teacher's×授業**も楽しみにしてください。



「ご機嫌は自分でつくるもの」

スクールカウンセラー 八島真紀

タイトルの言葉は、平日朝のラジオ番組でDJをされている俳優の別所哲也さんが番組内でよく口にするフレーズです。寝不足や悪天、心配ごとなどで目覚めが悪くても、この言葉を聞くと自分の気持ちがふっと軽くなるのを感じます。不機嫌に朝をスタートしても、自分の行動や考え次第でご機嫌な一日にできるということを思い出させてくれるからです。

何かうまくいかないとき、私たちは原因を外に向ける傾向があります。そのため、自分にできることはないと諦めてしまいがちです。あるいは、天気、体質、時代など、実際に自力ではいかんともし難い不都合も少なからずあります。それでも、そういった不都合、不機嫌な状況に一方的に打ちのめされたままなのはもったいないとは思いませんか。

雨が憂鬱なら、お気に入りのハンカチで気分を上げてみる。周囲がウザく感じるときは、好きな曲を脳内再生すれば自然に口角も上がる。タイミングの悪い赤信号は、天から与えられた小休止。コップ半分のドリンクは「まだ半分もある♪」。失敗は成功のもと。いかがでしょう、少しでも自分のご機嫌を自分でもつくれそうな気を持ててもらえると嬉しいですよ♪

相談室では保護者のみなさまからの相談も受け付けております。お子様のことで気になることがあればお気軽にご相談ください。下記の直通電話で予約することも可能です。



10月の開室日（9:00～16:00）予定

●大野SC勤務日…(大)

●八島SC勤務日…(ハ)

●10/7(水)(大) ●10/6(火)(ハ)

●10/14(水)(大) ●10/20(火)(ハ)

●10/21(水)(大) ●10/27(火)(ハ)

☆直通電話 03-3414-5193

☆相談室の場所 2階中央にあります

◆ 令和8年度 世田谷区立富士中学校合唱コンクール ◆

令和8年10月10日(土) 富士中学校体育館

- ◆ 9:05～保護者入場
- ◆ 9:10～開会式
- ◆ 9:25～1年生の部(課題曲「Let's search for tomorrow」・自由曲)
- ◆ 10:30～2年生の部(課題曲「時の旅人」・自由曲)
- ◆ 11:30～3年生の部(課題曲「大地讃頌」・自由曲)
- ◆ 13:15～吹奏楽部発表
- ◆ 13:40～ダンス部発表
- ◆ 14:10～閉会式(結果発表・表彰)

合唱曲 自由曲一覧

- 1A「夢の世界を」
- 1B「変わらないもの」
- 1C「マイバラード」
- 1D「大切なもの」
- 2A「輝くために」
- 2B「旅立ちの時～Asian Dreams～」
- 2C「HEIWAの鐘」
- 3A「群青」
- 3B「君と見た海」
- 3C「ヒカリ」
- 3D「信じる」



◆ 富士中卒業生からのお便り

令和7年度卒 S.Kさんより



私が高校に入って大きく変わったと思うことは、時間の使い方です。高校では、部活動や委員会活動に加え、行事の準備、授業の予習・復習、小テストの勉強など、1日にやることがとても多くなります。そのため、通学中の電車の時間や休み時間、放課後などを十分に活用する必要があります。大変ではありますが、友達とお弁当を食べながら小テストの勉強をしたり、放課後に教室に残ってクラスで行事について話し合ったりする時間は、とても楽しく、充実しています。また、行事の多さも変化の一つです。私の高校では、1学期からたくさんの行事が続きます。特にクラスマッチでは、2週間をかけて、球技や百人一首など様々な種目でクラス対抗戦が行われます。高校では、単なる「楽しさ」だけでなく、「忙しさゆえの楽しさ」を存分に感じる事ができます。

私は一般入試に加えて推薦入試での受験も決めていたため、冬休みからは受験勉強と並行して、面接や作文、集団討論の対策をしていました。私は特に作文が苦手で、最初は内容以前に、時間内に書ききることができず苦戦しました。そのため、入試2週間前からは「1日1作文」を習慣にし、とにかく書き続けました。ここで大切にしていたのは、書いて終わりにするのではなく、必ず書いた作文を先生やAIに添削してもらうことです。添削してもらうことで表現の幅が広がり、書くたびに自分の作文力が磨かれていきました。その結果、入試本番では、作文が他の部分でのミスをカバーしてくれる形となり、合格することができました。作文に限らず、「振り返り」と「継続」の二つを大切にすることが受験に立ち向かう上で重要なのではないかと思います。

私が思う富士中のいいところは、生徒のために尽力してくださる先生方がたくさんいるところです。行事では私たちと一緒に頑張って取り組んでくださったり、受験の時には親身になって話を聞いてくださったりと、多くの面で先生方に支えていただきました。受験が近づくにつれて、他人と自分を比べて落ち込んだり、「自分は本当に受かるのだろうか」と自分を疑ったりすることがあると思います。しかし、ここで忘れないでほしいのは、これまで自分がしてきた努力は決してなくなるということではありません。苦しい時こそ自分を信じて、努力を続けてください。受験に限らず、一つの目標に向かって努力するという姿勢は、高校生活を送る上でも、きっと心強い武器になってくれるはずです。

※来校されるときは、PTAより配布されたPTAパトロールカードに氏名を記入したものを付けてください。